

掲示板

研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(令和1年4月～6月)

○「第二十五回村づくり・

人づくり春季報徳研修会」

主催 一般財団法人

北海道報徳社

とき 令和1年5月31日

テーマ 報徳仕法の近代性及

び豊頃町にみる北海

道開拓と報徳精神の

実践

報告 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

○「北大農学部農業経済学科

移行生に対する講義」

主催 北海道大学農学部

農業経済学科

とき 令和1年6月20日

テーマ 北大農学部の移行生

の皆さんに伝えたい

世界の食料事情、質

易交渉、農政改革、

北海道農業のこと

講義 入江 千晴

(当研究所・常務理事)

今年度の通常総会終了後には、北海商科大学の相浦宣徳教授に、北海道の農産品の物流に関して講演していただきましたが(特集Ⅰ参照)、相浦教授と当研究所の富田義昭顧問の共著で、次の図書が七月に刊行されています。北海道の物流問題をより深く理解するうえで参考となる図書です。

◆『激変する農産物輸送』(H A J AブックレットNo.2)

発行 北海道農業ジャーナリストの会(H A J A)

編集後記

◆本年度の総会・理事会で新研究所長に坂下明彦氏が

就任した。新体制のもと、会員の負担に応える研究事業を推進し、引き続き北海道農業振興に寄与していきたい。

◆通常総会特別講演では、北海道料基地北海道を支える物流

の課題と役割、物流分野からの問題提起とお願い」と題してご講演いただいた。

JR北海道の営業区間見直し、青函共用走行問題、運転手不足による輸送力低下などの諸問題が、北海道の基幹産業である農業の存続にも影響する重大な課題であり、危機感と当事者意識を持ち、生産者・消費者な

らびに物流事業者それぞれにとって望ましい形へ再構築していく必要性を示唆いただいた。

◆飲める缶入りご飯がある。近畿エリアのAコープで販売されており、関西発明大賞を受賞している。加水・加熱がいらず、缶のまま口にすることができ、水分と栄養分を同時に補給でき

るすぐれもの。五年間の保存期間があり、災害備蓄品としての需要も高いそうだ。ココア風味・梅コンプ風味、シナモン風味と三種類あり、とくに暑さで食欲が減退する夏には、お薦めの一品である。飲めるオニギリもあるそうだが、さすがにオニギリは握った姿でいただきたい。

◆いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催まで1年となった。観戦チケットの抽選販売も始まったが、かなりの倍率であったようだ。秋にまた、先着順販売の機会があるが、宿泊や移動手段の確保も考えると、テレビ観戦が無難のようだ。

(片岡 省二)

DATA FILE 関連事項/DATA

北海道商科大学
〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
☎ 011 (841) 1161 (代)

琉球大学
〒903-0213
沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
☎ 098 (895) 8012

北海学園大学
〒062-8605
札幌市豊平区旭町4丁目1番40号
☎ 011 (841) 1161 (代)

北海道庁
〒060-8588
札幌市中央区北3条西6丁目
☎ 011 (231) 4111 (代)

北海道美幌高等学校
〒092-0017
網走群美幌町字報徳94番地
☎ 0152 (73) 4136

美瑛町役場
〒071-0292
上川郡美瑛町本町4丁目6番1号
☎ 0166 (92) 1111 (代)

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7階
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail: office47@chiikinouken.or.jp